



オンライン開催!!

今回は各学校に集合し、タブレットを使ってオンラインで参加します

中学生 高校生 ICT 2020 in 大分 カンファレンス

「新しい生活様式とICT活用法」 ～行動制限の時代に生きる～

災害時など日常的な生活が困難な時に、
ICTを活用してどんなことができるか考えます

参加者大募集!

**参加
無料**

日時
10/10 (土)
13時～16時(予定)

会場
**オンライン
開催**
(学校に集合し、
ZOOMにて参加)

対象・定員
大分県内の
高校生・中学生
高校生 **40**名
中学生 **10**名

- ★他校生と交流してみたい!
- ★発表やプレゼンテーションを経験してみたい!
- ★全国サミットに参加したい!(高校生のみ)

ネットの安全な
利用について
議論し、
発表しよう!

**特典が
いっぱい!**

★代表生徒や
各賞受賞生徒には、
豪華賞品を贈呈します。



詳細・
お申込み

9/18 (金)迄

中学生・高校生ICTカンファレンス2020in大分

検索

「中学生・高校生ICTカンファレンス2020in大分」
で検索、もしくはQRコードよりウェブページにア
クセスしてください。

※学校単位での事前のお申し込みが必要です。

※取材メディアも募集しています。

中学生・高校生ICTカンファレンス大分開催事務局
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
〒870-0037 大分県大分市東春日町51番6
大分第2ソフィアプラザビル4F
TEL:097-537-8180 FAX:097-537-8820
E-mail:ict_conf@hyper.or.jp



「新しい生活様式とICT活用法」 ～行動制限の時代に生きる～



■ プログラム概要(予定)

- 12:50ー 参加者zoomログイン完了
- 13:00ー 開会、主催挨拶、来賓挨拶
- 13:10ー オリエンテーション、ファシリテータ紹介等
- 13:20ー グループワーク1
・自己紹介、アイスブレイク
・議論
- 14:00ー 休憩
- 14:05ー グループワーク2
・議論
- 14:35ー 発表の準備
- 15:30ー 発表
- 16:00ー 投票・審査・講評・表彰

- ✓ 代表生徒や各賞受賞生徒には表彰状や記念品を授与します!
- ✓ 大分代表に選ばれた高校生は、11月開催予定の全国サミットにオンラインで参加していただけます。

■ 高校生の感想



カンファレンス全体を通じて、自分とは違う立場の人たちのSNSに対するイメージや想いを知り、そのうえで今後のSNSとの接し方について話を深めることができました。今後の自分のためにもよい経験ができました。

グループワークを円滑にすすめていくために、意見をだすときはしっかりだす、ひくときはひくことを心がけました。グループの人をお願いしたいことはお願いして、自分ができることは一生懸命しました。カンファレンスの参加により、以前よりもっと注意する意識をもって情報をつかっています。



■ 学生ファシリテーターの感想

グループワークを進行する中で感じたことは、どこまで個性を尊重して、どこから軌道修正した方がよいのかということです。私自身、高校での活動が今の自分を創っている為、良い経験になってくれると嬉しいです。



■ ICTカンファレンスに参加するメリット!

- ★他の学校の生徒と話をすることで、様々な考え方や価値観に触れることができます。
- ★自ら考え、意見をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力を鍛えることができます。
- ★カンファレンスに参加した経験を、受験等で自己PRとして活用できます。

■ 高校生ICTカンファレンス

2011年度に「ICTプロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしたもので、下記の2つの目的を持って実施しています。

(1) 学校の垣根を超えて話し合うという経験の中で、さまざまな考え方に触れ、「考える、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの体験の重要性を実感する。

(2) スマートフォンやインターネットを安心して安全に使うために、情報モラルについて自ら深く考え学ぶ姿勢を身につける。

2020年度は、北海道(札幌、帯広)、宮城、茨城、神奈川、新潟、石川、長野、静岡、愛知、大阪、奈良、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、鹿児島、計18拠点にて開催予定。

主催：大分県、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催(大分開催のみ)：大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会
共催(全国)：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁
後援：大分合同新聞社

